



防災通信

目黒区薬剤師会

常日頃より防災を意識していただくため、
その時々情報と共に、
目黒区薬剤師会防災対策委員会より
不定期で発信しています

VOL.2
DEC, 2024

目黒区各所の救護所の病院にて防災訓練が実施されました

0-0-0
OCTOBER
24

国立病院機構東京医療センター

都心南部直下型地震（目黒区震度6強、都内停電、
目黒区断水）発災を想定しての実働訓練



- ①カセットボンベによる発電機、ガスパワー発電機（エネポ）。発電機による電力がテントの設営や照明に使われます
- ②トリアージを受け、緑エリアに区分された模擬患者さん。薬剤師が医師に帯同し災害処方箋を作成することで、迅速に診察がなされていました。
- ③仮設薬局にて災害処方箋をもとに調剤を実施。軽症者はそのまま帰宅となります。
- ④落下物により右腕負傷の模擬患者さん。救護所での診察により検査が必要と判断されて、病院内での検査に戻ることに。



0-0-0
OCTOBER
17

三宿病院

三宿病院では、救護所テントの設営訓練が初めて行われました。実地訓練することで、テント内の配置を想定したり動線の問題点が明確となり、有意義な訓練となりました。



0-0-0
NOVEMBER
07

共済病院



首都圏直下型地震が発生し同時に病院内にて火災が発生したとして、訓練が実施されました。

- ①各病棟での避難状況を防災担当者から本部に速やかに報告
- ②消火活動や火災箇所にいる患者さんの安全区域への搬送
- ③起震車体験(東日本大震災の震度7を体感)

知っておきたい防災用語

『トリアージ』

トリアージとは、災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めることを言います。日本ではSTART法による一次トリアージ(ふるい分け)の後に二次トリアージ(並び替え)を行う方法が一般的です。

START法はあくまでも傷病者のふるい分けが目的で、時間的に余裕がある二次トリアージでは患者を細かく観察することが重要となります。

START法トリアージ

